



嘉島町議会

第9号

平成25年11月8日



議会だより



深まりゆく秋

(サントリービール公園)

9月定例会

目次

9月定例会・平成24年度決算状況 2

九州中央自動車道建設促進提言活動報告
町議会議員全員人権研修会 3

町政のここが聞きたい一般質問(5名) 4~6

議会活動報告 6

一部事務組合議会報告 7

「声」 8



竣工間近の嘉島町民会館

平成25年 第3回
9月定例会
9月7日～9月10日

報告ほか、条例改正、議決事件、補正予算、決算認定など20議案が提案され、原案どおり可決しました。また、道州制導入に反対する意見書の提出についての議員提案も全会一致で可決しました。

報告

- 平成24年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
- 平成24年度決算に基づく資金不足比率の報告について

議案審議

可決された議案

- 嘉島町税条例の一部を改正する条例の制定について
- 嘉島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

- 嘉島町民会館条例の制定について
- 嘉島町子ども子育て会議条例の制定について
- 嘉島町保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について

- 嘉島町町道の路線廃止について
- 嘉島町町道の路線認定について
- 益城町町道の路線認定に伴う承諾について

- 平成25年度嘉島町一般会計補正予算(第3号)
- 平成25年度嘉島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度嘉島町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成25年度嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度嘉島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)



認定議案

認定された議案

- 平成24年度嘉島町一般会計歳入歳出決算
- 平成24年度嘉島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度嘉島町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度嘉島町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度嘉島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

平成24年度決算状況(一般会計・特別会計)

単位:円

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入・歳出差引残額	
一般会計	4,533,061,167	4,169,916,446	363,144,721	
特別会計	国民健康保険	1,081,660,986	1,050,854,958	30,806,028
	住宅新築資金等貸付	1,421,434	1,214,860	206,574
	介護保険	641,869,344	594,784,690	47,084,654
	公共下水道事業	739,694,815	687,787,689	51,907,126
	後期高齢者医療	100,484,783	96,992,544	3,492,239

九州中央自動車道建設促進提言活動開催

早期整備への予算確保等要請（平成25年度嘉島JCT・平成30年度北中島IC供用開始予定）

嘉島町議会 議長 木田 勝

九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会のメンバーの1人として8月19日から21日まで3日間に渡って九州中央自動車道の早期整備についての提言活動に参加した。

熊本県側より、熊本市及び郡内の各議長及び担当事務局2名、宮崎県側から9名の合計17名の参加で、初日の19日は各県それぞれの河川国土事務所への提言活動を行い、熊本県側は熊本河川事務所長の進藤所長へ山都町議会議長の藤川期成会会長より中央自動車道の必要性早期整備についての提言書を渡し進藤所長より工事の進捗状況を聞いた。

嘉島一小池高山間1.8kmについては平成25年度には供用開始の予定また、嘉島一北中島間については、平成30年を目途に工事を進めているとの説明を聞いて福岡に向かった。

20日は、宮崎県側と合流して九州地方整備局への提言活動を行い、東京へと移動して、地元選出国會議員（衆9名・参3名）の先生方を回り早期完成への予算の確保をお願いした。

21日は、国土交通省、大臣官房、財務省、道路局など計24の各省庁へ本協議会会長の熊本市議会議長斉藤議長より、本路線を早期に整備する事で、沿線地域の産業・経済・文化の発展はもとより、防災・緊急医療などの安全安心な暮らしの確保、沿線住民110万人の長年にわたっての悲願である事などの提言書を渡し、対応された先生方からは、東北・関東の大震災の時の道路の重要性などを例に取り、九州にとって横軸になる中央自動車道の重要性は、よく認識されておられ、本路線の早期整備への予算等についても出来る限り要望に叶うように努力するとのことでした。

今後、一日も早く九州中央自動車道の完成を願うためにも、宮崎県、熊本県沿線市町村一丸となって建設促進大会や提言活動の重要性を感じた。



※JCTとはジャンクション(分岐点)の意味

町議会議員人権研修開かる！

高齢者の人権も全ての人権を守るにも、価値観の共有が大切

町議会では全議員が、人権問題について正しい知識を身につけ、自らの問題として捉え、あらゆる偏見や差別等の具体的な解決行動につなげていくことが求められている中、「議員人権研修会」が、去る9月10日、町会議室で開催されました。

本年は少し趣向を変えて、講師に熊本県認知症介護指導者グループホームせせらぎ(甲佐町)代表、高橋恵子先生を招き、「高齢者の人権について」と題して講義を受けました。

特に先生からは、高齢化が進む中で、独居世帯等も増加、ともすれば「家の中にひきこもり」になり、外部とのつながりの希薄から孤独感へ、そして「認知症」の発症へと珍しくない現状をお互いが認識し合うと共に、地域の中でのサポートが必要であること。また、援助者としての役割で安全に安心して暮らせる地域社会づくりや、違いを認め合い、助け合い、話が出る地域社会づくりが必要である。そして高齢者の方々が大切に思っていること、例えば高齢者の方が作った作品や草花、好きな子ども達・ペット・風景等々、私達は無意識の内に奪っていないか、今一度反省することから、高齢者の人権を守る実践は、全ての人々の人権を大事に守ることに通じることを力説されて、結びとされました。



宮本 睦生 議員



問 消防施設管理及び
消防活動について

防火栓の蓋盗難に対し、①被害届提出をしたのか②盗難にあわない蓋の検討③現在の防火栓の蓋の状況、について対応は？

また、新聞に消防団員減少と新聞に載っていたが、本町での現状は？更に、各分団での消防団員のばらつきがみられるが、何か対策は？

答 総務課長

被害届は、5月20日に盗難の報告を受け、同日提出しました。町内の防火栓は、73か所ありますが、最終的には35個の被害にあっています。現在、残りの蓋は回収し、土嚢袋で覆っている状態ですが、特殊性から既製品はないということ、業者と協議し対策を

練っています。消防団員の確保対策については、条約定数に少し足りない状況でありますが、最近忘れがちである地域との絆が深まっていくなどの利点もあることなどを訴えながら、基準としている団員数を確保するように幹部の皆さんの協力を得ながら加入促進を図っているとところです。

*試作品完成



右側 従来品（真鍮）
左側 試作品（プラスチック）

問 公園活用について

*蓋の色は検討中です。

町内の公園において、ペットの散歩が可能か？何故ならば、『路肩にペット散歩時のフンをそのまま放置してあるため、衛生上問題である』と聞くからです。そこで、町としても次の事について協議しては？①ペットを散歩できる場所の提供②広報誌による、飼い主

答 建設課長

のマナーの向上の呼びかけ③フンの後始末を促す看板の作成・配布
基本は、飼い主のマナーですが、社会環境整備を向上することで、より良い町づくりができると思慮します。

基本的に両公園はスポーツ・レクリエーション施設と位置付けしており、子供からお年寄りまでの幅広い年齢層の町民の体力向上と健康増進を図るための整備を進めております。これらを踏まえ「公園内での犬猫等の散歩」につきましては公園利用上の禁止事項「ペットの持ち込み禁止」の一つとしています。（盲導犬・介助犬は除く）

①ペットの散歩などは専用施設（ドッグラン）の活用や従来どおりの方法で対応をお願いいたします。

②今後はより一層の広報活動を行い、フンの後処理や放し飼いなどが飼い主の意識向上を図っていきます。

③看板は、作成または、購入し希望者に配布できるように進めます。

鍋田 平 議員



問 「学校応援団」について

答 学校教育課長

各地で「学校応援団」やこれに類する事業があり、学習・環境・行事支援が展開されているので、柱となる「規約」等を整備してボランティアの拠点になる事務局やコーディネーターを養成し各分野に配置・対応できる「人材」を把握・登録する必要があります。町でも包括的な組織はないが、個別的には下校時の見守り、幼稚園・小学校での読み聞かせ、小・中学校授業へ地域人材の活用など、他町村の事業内容や組織・体制等を調査しながら支援体制の整備を図りたい。

答 町民課長

現在、介護保険事業で実施している「デイサービス」は地域支援事業で実施している「らくらく、いきいき・さんさん教室」や地域サロン等の充実で対応を行います。「訪問介護の身体介護や生活援助」は一般事業の「軽度生活援助事業」の充実を図り対応したいと思っております。その他「福祉用具貸与」「住宅改修」につきましても町事業で引き続き実施できるようにサービスを検討し、要支援1・2の方が介護保険制度から外されても「軽度者の切捨て」とならないよう引き続き町の事業で実施していきたいと考えています。

問 農業後継者の育成など農業生産体制の充実について

答 農政課長

本町では、集落営農により町内全域で水稲と大豆を組み合わせた団地化によるブロックローテーションを展開して、県内の農業のモデル地区とし

て、県からも高い評価を受けている。農業の担い手を育成するため、認定農業者や集落営農組織などを町の担い手と位置づけ、担い手にコンバインや中間管理などの大型機械の導入を推進し、作業の効率化、個々の農家の機械投資抑制による低コスト化を図っている。また、担い手育成総合支援協議会を随時開催して、認定農家の農業経営改善計画を審議し農地を集積させ農業経営の改善を支援している。「人・農地プラン」で中心となる経営体に位置付けられると原則45歳未満で独立・自営就農される方に年間150万円を最長5年間支援する青年就農給付金の他にも農地集積協力金・金利負担軽減措置等が受けられる。本町としては、営農組合の法人化支援や農業を担う農家が育っていくよう、国・県・農協等の関係機関と連携して、担い手に農地を集め、補助事業による農業機械導入や新規就農認定を県から受けることによる無利子資金の活用等、経営が安定するように支援する。

問 社会保障制度改革について

問 町のごみ排出

(一般廃棄物) 量の改善対策は

熊本県の2011年度実績として県民一人当たりのごみ排出量(1日当り)が45市町村平均831グラムと、全国で最も少なかったとの環境省の全国実態調査で判明しておりまして。逆に県内最多は不名誉な事に嘉島町が最下位の1,213グラムとの結果をふまえて、町の現在の一般廃棄物排出の軽減対策と改善を要する対策について

1日あたりのごみ排出量の市町村順位を発表しました。本町は町民一人1日あたり1,213グラムと県内最多となっております。これは、家庭ごみと事業系ごみを合算したのを人口割りしてあり、本町は人口の割に多くの企業、事業所及び店舗が立地しており、町民一人あたりの割合がどうしても大きくなるのが要因の一つであります。

きることから実践しましょう」というテーマで、ごみ減量化対策の項目を随時掲載していき、個人で一つでも多く実践していただければと思います。

答 建設課長

熊本県は、8月7日、23年度における県民一人



富山 勝 議員

平成5年度から生ゴミ処理機構入補助制度を設け、推進してきたところですが、今後さらに制度の周知徹底を強化して、ごみ減量化を推進してまいります。今後の広報紙にも、「で



問 町内案内イラストマップ紙の作成、設置を

設置を

本町には、イオンモール熊本、サントリリービル公園、野菜直売所など町外から来られる方が多く、買い物のおと町内を周ってみようと思われる人も多いと思います。はじめに来られる方は嘉島町には何があるか(名所、旧跡など)わかりませんので、一色刷りのイラストマップを作り、人が集まるところに置いては、いかがかと思えます。現在、立派なパンフレットが作ってありますが、気楽に持ち帰れる簡単なもので、ご検討をお願いします。

答 企画情報課長



現在、嘉島町の観光パンフレットは、B3サイズの両面カラー刷りの一枚ものにて作成しております。

かということですが、現在作成しております町の観光パンフレットを置けば町の紹介・案内ができるかとおもわれますが、町内のいろんな施設に置くには大量の部数が必要となります。

現在作成しております観光パンフレットは両面カラー刷りのため単価も高く経費的にもかなり大きくなりますので、もっと安価な簡単なイラストマップの作成を検討するとともに配布箇所についても今後検討してまいりたいと思えます。

答弁を受けて

嘉島町は、今後人口も増え、町外から来られる人もますます多くなると思われれます。まだ私たちが知らないところも多く点在しております。町の情報発信、隠れた名所の紹介のためにもぬくもりのある手書きイラストマップの作成をおねがいします。

河原 泉 議員



ご質問にもありましたように本町にはサントリリー九州熊本工場、イオンモール熊本、JAのみましきとれたて市場など町外、県外から多くの方が訪れる施設があります、このような多くの方が集まる場所に嘉島町を紹介・案内できるようなイラスト入りマップを置いたらどう

川上 國治 議員



問 かしま水の郷まつり

会場での火の取り扱
いに対する事前事故
防止安全対策について

今年8月15日京都府福知山市の花火会場でガソリンが引火して大惨事が起き多数の死傷者が出ました。当町では現在まで無事故で開催されているのは、関係者のご協力と安全管理が行われていたからだと思いますが、事故が起きてからでは遅いので、どのような安全対策を取られているのか、また、その際出展者には事前に安全教育に参加させて申し込みを行ったり、当日持ち込みの火を使う器具、プロパンや燃

答 企画情報課長

料等の届け出チェックは行われているかお尋ねします。

かしま水の郷まつりはこの事故より10日程前の8月3日にイオンモール熊本西側駐車場を会場に開催した所ですが、事故もなく無事開催することが出来ました。

今年で18回目の開催となりますが、これまで負傷者が出るような事故は起きていません。

質問にありました出店業者への火器取り扱いに対する安全対策の実施状況ですが、安全教育への参加や火器持ち込みのチェック等については特に実施しておりませんでした。火器の取り扱いについては、出店者各自に於いて安全管理を任せていたのが実情です。ガソリンの持ち込みについても40ℓ未満は専用の容器で保管する以外は法的な

規制は無く、届け出義務も無いため特にチェック等行っていないかもしれません。

今回、福知山市の爆発事故を受けまして、このような事故が起きないように、来年度からは安全対策として、出店者に火器使用の届け出をさせると共に、出店者が集まる会議の際にガソリンの取り扱いに関する留意事項や露天に於ける火災予防のチェック等について注意説明等を実施したいと考えています。

祭りの当日は上益城消防署・御船警察署に協力依頼し、祭り会場を巡回して火器の管理状況を現地に巡回指導を行うなどの安全対策を図って行きたいと考えています。



主な議会活動 (平成25年8月から10月まで)

月日	項目	場所等
8月 2日	第1回臨時会・全員協議会	役場議会議場
8月 5日	民生委員推薦会(議長・木下) 県町村議会正副議長研修会(正副議長)	役場3階中会議室 自治会館
8月 7日	御船地区衛生施設組合議会視察研修(住田) 第2回上益城消防組合同例会議(津出・宮本)	香川県・愛媛県 上益城消防組合消防本部
8月 9日	益城・嘉島・西原環境衛生施設組合第2回例会(木下・岡)	益城町クリーンセンター
8月12日	主要地方道小川嘉島線道路整備促進期成会総会(議長)	宇城市役所
8月16日	例月現金出納検査(川上議選監査委員)	監査委員室
8月19日~21日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会提言活動(議長)	熊本河川国道事務所→福岡→東京
8月22日	市町村社協トップセミナー(議長)	KKRホテル熊本
8月23日	九州中央自動車道建設促進地方大会(議長)	北方文化センター
8月26日	第2回上益城広域連合議会定例会(正副議長)	福祉センター
8月27日	常任委員長・議会運営委員長研修会	グランメッセ熊本
8月28日	議会運営委員会	庁議室
9月 2日	県地域福祉トップセミナー(議長)	熊本テルサ
9月 3日	第2回御船地区衛生施設組合議会定例会(住田)	組合会議室
9月 6日~10日	第3回定例会	役場議会議場
9月10日	全員協議会	議員控室
9月10日	議会議員人権研修会	3階中会議室
9月11日	町敬老会(正副議長)	町民体育館
9月18日	例月現金出納検査(川上議選監査委員)	監査委員室
9月19日~10月31日	第9号広報編集会議(第1回~5回)	監査委員室
9月24日~30日	秋の全国交通安全週間街頭指導(全議員)	嘉島町内全域
10月13日	嘉島幼稚園運動会(全議員)	嘉島幼稚園
10月16日~18日	経済厚生常任委員会行政視察(木下・富山・岡・河原)	沖縄県北中城村外
10月24日~26日	総務常任委員会行政視察(川上・宮本・津出・木田)	長野県信濃町・小布施町外
10月31日	町村議会議員研修会(全議員)	県立劇場

上益城消防組合議会

議会報告 平成25年 第2回 定例議会 (平成25年8月7日開催)

3議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・平成24年度 上益城消防組合一般会計決算
歳入決算額 813,118,809円 歳出決算額 806,037,870円
- ・平成25年度 上益城消防組合一般会計補正予算(第1号)
他1件

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会

議会報告 平成25年 第2回 定例議会 (平成25年8月9日開催)

2議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・平成24年度 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合一般会計決算
歳入決算額 510,024,111円 歳出決算額 456,144,353円
- ・平成25年度 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)

御船地区衛生施設組合議会

議会報告 平成25年 第2回 定例議会 (平成25年9月3日開催)

2議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・平成24年度 御船地区衛生施設組合一般会計決算
歳入決算額 202,550,568円 歳出決算額 191,290,931円
- ・平成25年度 御船地区衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)

上益城広域連合議会

議会報告 平成25年 第2回 定例議会 (平成25年8月26日開催)

2議案が提案され、原案のとおり可決されました。

- ・熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- ・平成24年度上益城広域連合一般会計歳入歳出決算認定について
歳入決算額 67,672,967円 歳出決算額 60,856,616円

* 皆さんへお知らせ *

3組合の広域化に伴うスケジュール

現在使用されている施設は、ゆくゆく老朽化し不都合が生じることが確実視されており、将来を見越して各組合の広域化などについて話し合いが行われています。

平成24年から広域化の勉強会からスタートし、協議・計画・調査・建設の構想で進んでいます。

3組合とは

- ▶ 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合 (益城クリーンセンター・益城斎場)
- ▶ 御船地区衛生施設組合 (環境クリーンセンター)
- ▶ 御船町・甲佐町衛生施設組合 (御船甲佐クリーンセンター・妙見苑)

「声」 選挙権を行使しよう

松永 信也（下仲間）



私は、平成16年3月から選挙管理委員を務めて9年が経過、その間、各種の選挙を経験しましたので、その感想を述べさせていただきます。

選挙は、国政をはじめ、地方自治体の議員・首長を選ぶ大事な仕事であり、国づくり、町づくりに参加できる方法だと思います。

国民は、満20年以上であれば選挙権が与えられ、選挙人名簿に登録されます。その後は、衆議院・参議院・県知事・県議会議員・町長・町議会議員等の選挙権を行使することができます。また、裁判員候補者予定者・検察審査員予定者として、「くじ」で選ばれます。

昨年の衆議院の投票率は戦後最低となりました。今年7月の参議院選挙の嘉島町投票率は、55.2%で前回は7%下回っています。

投票率の低下の理由として、「投票したい候補者や政党がなかった」ということが考えられます。

皆様も日頃から、テレビ放送、新聞等の政治、経済から身近な暮らしの話題等の報道に関心をもって頂くと、自分の主張に近い候補者や政党が見つかると思います。また、嘉島町の「議会だより」を読んで頂くと、町の行政や地域発展への努力が見えてくると思います。

衆議院の選挙は「政権の選択」であり、参議院選挙は「中間評価」と言われています。日本の平和と繁栄を維持発展させるには、信頼のおける政党や人物を見極め、自らの投票で選ぶ責任と自覚が求められます。

公職選挙法は、行政経費の使途に厳しく、選挙人が優遇されています。例えば、以前の不在者投票制度より、今の期日前投票が簡単に利用できますし、多くの人が選挙できるように、投票時間も2時間延長されています。

皆様も心を新たに、選挙は棄権することなく「選挙権を行使」して政治に参加し、民主主義を守ることを願うものであります。

議会を見に来ませんか

- ・ 私たちの町はどんな未来へ向かって進んでいるのか
 - ・ 皆さんが選んだ議員がどんな活動をしているのか
- 見ていただくチャンスです。ぜひ、見に来てください！

次の議会は、**12月**に開催予定です。



傍聴席

【議会の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。詳しくは議会事務局へ TEL 096-237-1111 (代表)】

編集後記

二〇二〇年オリンピックの開催招致を東京での「夢」に向けて、オールドジャパンで努力の甲斐があり、「TOXKO」に決定。
「夢」は行動によるのみ現実となるのか、本町も町民のため様々な夢の実現に向けて努力しあつていきたいと思います。

(津出)

実りの秋、稲刈りも終わり、大豆の収穫を迎えようとしています。台風26号による甚大な土石流被害が出た伊豆大島、自然災害の恐ろしさを改めて感じております。一日も早い復旧を願っています。自分の命は自分で守る。「危険を感じた際、迷ったら避難する！」

(岡)

昨年食味のランキング一位に輝いた地元米「森のくまさん」。新米のこはんは、格別ですね。朝食は、ご飯を食べて活力源にしましょう。

(河原)

台風や大雨による自然災害は予想以上の被害をもたらします。日頃より家庭でも「避難場所の確認」「防災グッズの確認」など防災についての話し合いをして意識を持つことが必要だと思います。

(鍋田)

東部台地開発がいよいよ始まり、町の発展が加速していくよう思われます。

これからも、多種多様な面で思慮しながら活動し、町発展に頑張っていきたいと思えます。(宮本)

発行責任者／議長 木田 勝

- 委員長 津出悦男
- 副委員長 岡 牧生
- 委員 河原 泉
- 委員 鍋田 平
- 委員 宮本陸生